|  |  |
| --- | --- |
| 問１ | 分類  出力層の活性化関数がソフトマックス関数  →分類 |
| 問２ | ソフトマックス関数が使用されているから。  交差エントロピー誤差が使用されているから。 |
| 問３ | 学習が足りず誤差がたくさんでてしまう。 |
| 問4 | シグモイド関数を使用しており、0~1までの間を滑らかに出力している。  また関数への入力が小さくなると出力が0に近づき、出力が大きくなると1に近づく。 |
| 問５ | 交差エントロピー誤差が使用されており、二つの分布の間のずれを表している。また出力が正解と隔離すると誤差が無限に向かって増大するように定義されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 黒崎　輝 |